

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者の自立に向けてのプログラムの開催
事業主体 (連絡先)	NPO 法人子どもサポートチームすわ 0266-58-5678
事業区分	教育文化の振興 雇用の拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	540,600円 (うち支援金: 338,000円)

事業内容

- 自立支援に向けての合宿
家に引きこもりがちな若者が社会に出てゆくための一つのきっかけとして、家を離れて公共の施設での合宿の実施。
時期:平成27年10月22日～平成28年1月30日(3回)
参加人数:延べ30人
方法:国立信州高遠青少年自然の家で2泊3日の合宿生活で様々なことを体験し社会との接点を持てるように支援した。
- 無料相談会
・合宿参加の若者が経験を活かしさらに個別相談会でその方向性を具体かし支援につなげた。
・進路に迷い方向性を失っている若者とその保護者に面談し問題解決の方向性をしめせた。
時期:平成27年11月23日～平成28年3月21日(4回)
参加人数:延べ18人
方法:個別相談(一人50分の個別相談の実施)



【冬合宿での様子】

【目標・ねらい】

- ① 若者のコミュニケーション能力の向上
- ② 個別の課題解決のための相談会の実地

事業効果

参加者(延べ):中学生8人、高校生10人、高卒者以上12人、
内女子2人・男子22人
高校生は高校卒業し専門学校への進学者2人・アルバイト2人であった。高校者以上で家にいた若者が積極的に就労活動を始めた若者2人。そのうち1人は就職できたが、職場のトラブルで一時休職したが、この企画には参加し支援のサポートのおかげで、復帰できたことは大きな成果である。

今後の取り組み

来年度も今年度の事業を縮小して継続する予定である。

※自己評価【 A 】

【理由】

合宿では、若者の交流の機会を提供することが出来た。
就労につながった若者もあり、目標に達することが出来た。
無料相談会では、個人の課題に寄り添うことが出来、支援につながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある